

互近助(ごきんじょ)のつながりで「共生」のまちが見えてくる！

生活支援コーディネーターが地域で出会い、仕組みづくりに携わった身近で地道な支え合いが、地域共生社会に向けた大切な「支え合いのピース」です。増えれば増えるほど目指す未来は鮮やかになっていきます。



互近助(ごきんじょ)のつながりで 「共生のまち」が見えてくる！

このモザイク画は倉敷市の生活支援コーディネーターが毎年地域に向けて発行する居場所や支え合い活動の事例集に掲載した写真で作成しています。「みんなちがってみんないい」そんな活躍と助け合いを魅力たっぷりに発信し支え合いのピースを組み合わせながら、地域共生社会を目指します。

支え合いにあふれる
事例集 6部作 は
こちらから

